

認知症なんて どうってことない 西区おもいやりのまち宣言 ～ あいがとうの数だけ 幸せをも～やっこ ～

西区では、これまで地域住民や西区地域包括ケア推進会議、西区医師会、各種事業所など関係機関の方々とともに積極的に認知症施策の取り組みを進めてきました。今後も更に認知症施策を推進し、認知症当事者とその家族の意見を取り入れることで、「認知症になってもあんしんをも～やっこできるまち・西区」を実現することをめざします。

【認知症になっても、尊厳が守られ、自分らしく生きることができます。】

私たちは認知症になっても尊厳が守られ、自分らしく生きていくことができるまちをつくりまします。お互いに嬉しい気持ち、楽しい気持ち、時にはつらい気持ちをも～やっこし、思いやりをもって行動します。

【認知症を正しく理解し、住み慣れた地域で安心して生活することができます。】

私たちは認知症についての正しい知識をも～やっこすることで、認知症への誤解や偏見をなくします。子どもから高齢者、異なる立場などにおいてもお互いを知り、支えあうことで、安心して生活することができるまちをつくりまします。

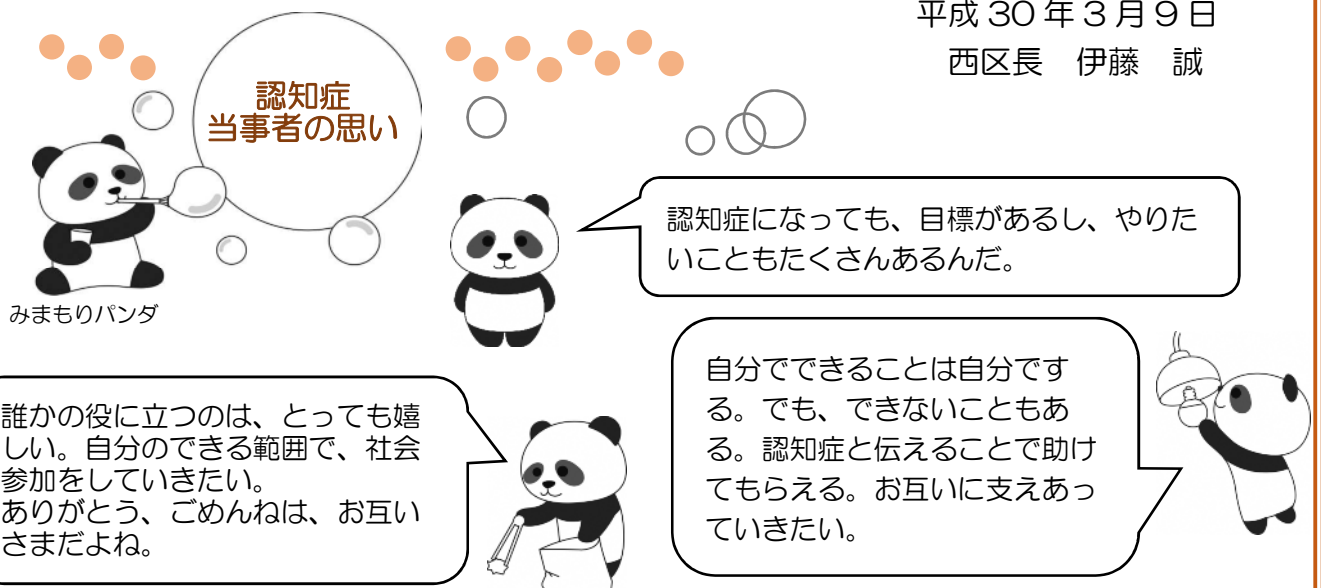
【だれもがかけがえのない存在です。】

私たちは認知症になっても目標や生きがいを持ち、地域で役割をもって生きていくことができるまちをつくりまします。私たちは「かけがえのない存在」です。だれもがお互いの思いをも～やっこできる地域づくりをすすめまします。

私たちは、だれもが認知症を自分のこととしてとらえ、お互いを支えあうも～やっこの精神をもって認知症の人とその家族を支え、「認知症になってもあんしんをも～やっこできるまち・西区」を実現するために歩んでいくことを宣言します。

平成 30 年 3 月 9 日

西区長 伊藤 誠



も～やっことは：「みんなで仲良く分け合う」という意味の名古屋ことばです。会合を意味する「催合い（もやい）」、船と船をつなぎ合わせる「舳い（もやい）」などが原型といわれています。